

コンクリートやモルタルを漏水・劣化から守る!
屋上・ベランダ・バルコニーなどに

水性一液型防水塗料

環境
対応型

アトレーヌ®

水性防水材

1~2日間で施工OK

ソフトな感覚

継目のない仕上り

ATOM'X
ISO14001

コンクリートやモルタル、 打ちっ放しになっていませんか？

建築後10年もするとコンクリートやモルタルは中性化して劣化が始まります。ひび割れや漏水の原因ともなり、最悪の場合、浮きやハガレを招き、修復が非常に困難になります。「しまった!」と後悔する前にさあ、保護しましょう。それには防水塗装が最適です。



<防水塗料はこんなにスグレモノです>

丈夫な塗膜が水から建物を守ります

防水塗料は下地に強力に密着することにより、薄くて頑丈な数mmの塗膜を形成し、水分の浸入をシャットアウトします。



う〜ん、
無理効かないなあ…



おやおや、同じ歳なのに
元気がないね。うちの屋上は防水
塗料だからこの通りだよ!

塗り替えも簡単

トップコートの定期的な塗り替えにより、半永久的に建築物を保護することができます。部分的な補修やタッチアップも手軽にできます。



ローラー・刷毛で塗装できます

優れた耐候性・耐久性

外部という厳しい条件にも長年耐える他、下地の伸び縮みにも柔軟に追従する性能を備えています。

水をはじく!
水の侵入をシャットアウト!



継目のないシームレス仕上げ

防水シートなどと違い、塗料の場合は継目がありません。端の部分からはがれることもなく、美しい仕上がりとなります。



一面全体に
継ぎ目がなく
スッキリした
美しい仕上がり!



アトレーヌ® 水性防水材は、 環境面と性能面を両立させた、21世紀型塗料です。

「それでも塗料はちょっと心配」という声にお答えします

「塗料って、有害な物質がいっぱい入っているのでしょうか？」

アトレーヌ水性防水材はホルムアルデヒド・トルエン・キシレンを含まない、安全な水性タイプです。
塗料をうすめたり、用具を洗ったりするのも水でOK。シンナーを使用することがありません。

「ペンキ特有のニオイが心配ですが・・・」

僅かに臭いはありますが、溶剤(油性)タイプと比べるとずっと穏やかです。
いつまでも臭いが残るという事はありません。

「水性は何となくはがれやすそう？」

いいえ、そんな事はありません。水性塗料の性能は最近どんどん向上しています。
耐候性や耐久性は、従来の溶剤(油性)タイプと同等以上です。

「シート防水が貼ってある上でも大丈夫？」

水性防水材は十分な下地処理の後に下塗り→中塗り→上塗りの工程で強力に
密着しますので、シート防水の上から塗装しても、塗料の機能を損なうことはありません。

「塗装は面倒で時間がかかると聞きましたが」

この製品は速乾タイプですから、塗装間隔が短く、春～秋は1日(気温
20℃以上を目安)、冬場でも2日で仕上がります。短期間で塗装完了します。
※標準仕様の場合

「遮熱タイプはありますか？」

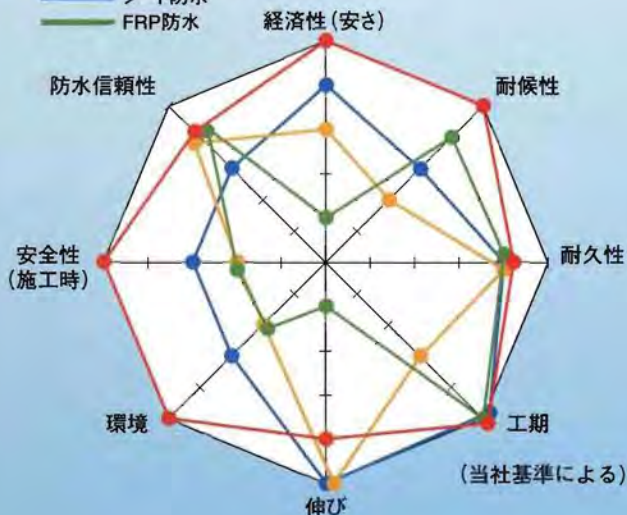
水性トップSG(上塗り)は遮熱タイプですので、従来のウレタントップコート
に比べて表面温度(コンクリート直下の温度)を約15℃下げることが
できます。特に夏場においてエアコンの効率が良くなり、冷房費の節約
にも直結します。



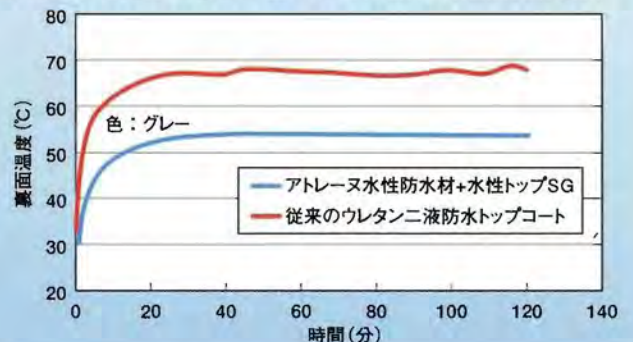
～ 見直してみませんか、塗料の実力 ～

アトミクスの「アトレーヌ® 水性防水材」をご活用ください

- 水性防水材 (プライマー1回、中塗り3回、上塗り1回の標準仕様)
- 一般的なウレタン塗膜防水材
- シート防水
- FRP防水



■ 従来のウレタントップコートとの比較(表面温度測定結果)



- 【室内方式】
- 照射光源：キセノンランプ100W
 - ランプの高さ：8cm (ランプ試験板)
 - 箱の大きさ：縦18.0cm×横28.0cm×高さ14.5cm
 - 測定機器：おんどとりTR-71S (T&D corp.)
 - 測定場所：恒温恒湿室
 - 断熱材厚さ：55mm

【施工例】



【製品一覧表】

工程	製品名	内容量	塗り回数(標準)	色数
下塗り	ベストシーラー-K <small>(コンクリート 素地のみ)</small>	4kg・16kg	1回	淡黄褐色
中塗り	アトレーヌ® 水性防水材	4kg・16kg	3回	グレー
上塗り	アトレーヌ® 水性トップSG	3kg・15kg	1回	遮熱グリーン・遮熱グレー

上塗りは水性トップH(つや消し、骨材入り)仕上げもあります。

【水性トップSG 色見本(つやあり)】



遮熱グリーン



遮熱グレー

この色見本は印刷物のため、実際の色とは多少異なります。

【用途】屋上・ベランダ・バルコニー等建築物の防水

<注意事項>

- 1.当製品「アトレーヌ 水性防水材」は、業務用塗料です。
- 2.この製品の特長・注意事項・塗装仕様・施工要領・下地調整等は別途発行しております「アトレーヌ 水性防水材資料編」を良くお読みください。
- 3.また実際の塗装にあたっては、これらの販促物の他、製品安全データシート(MSDS)を必ず入手し、製品本体記載の注意事項も熟読ください。

※全般的注意

- (1) 改良のため、①製品の中身、仕様 ②販促物の内容などは将来予告なしに変更する場合があります。
- (2) 当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- (3) 製品本体及び当販促物に記載されている定められた用途以外には使用しないでください。また、ご使用方法などにつきましてご不明の点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。

製品情報は当社ホームページからも検索できます。

URL : <http://www.atomix.co.jp> から「防水に関する製品」をクリックしてください。

アトレーヌ® 水性防水材の詳しい製品情報がご覧になれます。また、メールでのお問合せも承っております。

Internet Paint Shop

ぺいんとわーくす

<http://www.paint-works.net/>

アトミクス株式会社

塗料・塗膜に関する技術的ご質問・お問い合わせは
アトミクステクニカルサービスセンター(TSC)へ。
プロのスタッフが的確にお答えいたします。

0120-881945

●営業時間 9:00~18:00(日曜・祝日はお休みさせていただきます)

塗料事業部 〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1 TEL(0480)65-1233 FAX(0480)65-1161

■大阪支店	〒574-0053	大阪府大東市新田旭町2-22	TEL(072)872-3111	FAX(072)872-1222
■仙台営業所	〒982-0012	仙台市太白区長町南4-24-22(山村ビル)	TEL(022)249-7371	FAX(022)249-7372
■新潟営業所	〒950-0982	新潟市堀之内南2-19-14(和合ビル2F)	TEL(025)244-8011	FAX(025)244-8012
■千葉営業所	〒264-0025	千葉市若葉区都賀3-22-9(ヴィラグレイス203)	TEL(043)234-5123	FAX(043)234-5125
■東京営業所	〒174-8574	東京都板橋区舟渡3-9-6	TEL(03)3969-3125	FAX(03)3968-7300
■横浜営業所	〒224-0033	横浜市都筑区茅ヶ崎東3-17-43	TEL(045)943-8911	FAX(045)943-8912
■名古屋営業所	〒462-0043	名古屋市北区八代町1-9(北村ビル2F)	TEL(052)914-3900	FAX(052)916-0892
■広島営業所	〒739-1734	広島市安佐北区口田1丁目8-17(小丈夫ビル)	TEL(082)845-2202	FAX(082)845-2203
■福岡営業所	〒816-0063	福岡市博多区金の隈1丁目33-31	TEL(092)503-5200	FAX(092)503-5308
■加須工場	〒347-0017	埼玉県加須市南篠崎1-12-1(加須工業団地内)	TEL(0480)65-1159	FAX(0480)65-7146
■久喜工場	〒346-0101	埼玉県南埼玉郡菟瀬町昭和沼6(久喜菟瀬工業団地内)	TEL(0480)85-7931	FAX(0480)85-3112
■大阪工場	〒574-0053	大阪府大東市新田旭町2-22	TEL(072)872-3111	FAX(072)872-1222
■岡山工場	〒708-1312	岡山県勝田郡奈義町柿502-11(東山工業団地内)	TEL(0868)36-7000	FAX(0868)36-7010
■本社	〒174-8574	東京都板橋区舟渡3-9-6	TEL(03)3969-3111(代表)	FAX(03)3968-7300

コンクリートやモルタルを漏水・劣化から守る!
屋上・ベランダ・バルコニーなどに

F☆☆☆☆

環境
対応型

水性一液型防水塗料

アトレーヌ[®]

水性防水材

1~2日間で施工OK

ソフトな感覚

継目のない仕上り

ATOM'X

環境面と性能面を両立させた21世紀型塗料

アトレーヌ水性防水材。
もちろん作業性にも優れた
アトミクスの自信作。

アトレーヌ 水性防水材



中塗り：水性防水材
(写真は16kg)

上塗り：水性トップSG
(写真は15kg)

アトレーヌ水性防水材 関連製品一覧

種別	製品名	色	配合	荷姿	備考
プライマー	ベストシーラーK	淡黄褐色	一液	4kg・16kg	カチオン系
プライマー	ベストシーラーKセット	—	ベストシーラーK:4kg Kパウダー:0.8kg	4.8kgセット	プライマー +フィラー
フィラー	Kパウダー	—	—	3.2kg	プライマー混入用
防水材	アトレーヌ水性防水材	グレー	一液	4kg・16kg	ウレタンハイブリッド
トップコート	アトレーヌ水性トップSG	遮熱グリーン・ 遮熱グレー	一液	3kg・15kg	アクリルウレタン
	アトレーヌ水性トップH	グリーン・グレー・ シルバーグレー・ブラウン	一液	20kg 4kg(グリーン・シルバーグレーのみ)	アクリルエマルジョン (骨材入り)
下地調整材	リーチ	—	A材:20 C材:40 M材:1.3	61.3kgセット	下地調整材
防滑材	アトレーヌ ノンスリップ材	—	—	300g	防滑用特殊骨材
補強布	ボランス	—	—	102cm×100m	
				102cm×20m	
				10cm×100m	
脱気装置	ダモ脱気盤	—	—	5枚 1セット	脱気用
	ステンレス脱気筒	—	—	2個 1セット	脱気用

特長・用途・注意事項

アトレーヌ水性防水材の特長

一液水性タイプなので、作業が容易

計量混合の手間が不要。硬化不良の心配もなし。
だから失敗も少なく、美しい仕上がりが期待できます。

ローラーによる塗装が可能

コテを使った従来の二液タイプに比べ、作業がずっとラク。作業時間も短縮できます。

環境対応型

ホルムアルデヒド・トルエン・キシレンなどの揮発性有機化合物を配合しない、環境対応型塗料です。

速乾性で効率的

塗装間隔も短く、春～秋は1日で仕上がり可能。待ち時間も少なく、効率良く作業が進められます。

下地を選ばない

旧塗膜（水性・溶剤アクリル・アクリルウレタン等）の上にも塗装可能です。またシート防水、FRP防水の上に直接塗装可能です。

優れた遮熱効果

※シート防水、FRP防水、砂付きルーフィングの塗装については、当社にお問い合わせ下さい。

上塗りにアトレーヌ水性トップSGを塗布することにより、遮熱効果が得られます。

アトレーヌ水性防水材の用途

屋上・ベランダ・バルコニー等建築物の防水

注意事項

1・塗装（施工）前の注意

- (1) 5℃以下の場合には、塗装を避けて下さい。
- (2) 降雨・降雪・高湿（85%以上）・高温時及びその恐れがある場合には、塗装を避けて下さい。
- (3) 下地調整は、塗料の付着力を決定する重要な工程です。施工仕様書等を良くお読みの上、十分に注意して行って下さい。
- (4) 塗料は、ご使用前に容器を十分に振り（または十分に攪拌し）均一な状態でご使用下さい。
- (5) 冬期に塗装する場合は、冬期仕様になります。ご使用前に当社にお問い合わせ下さい。

2・塗装（施工）中の注意

- (1) 下地が濡れている場合には、十分に乾燥させてから次の工程に着手して下さい。
- (2) ベストシーラーKはカチオン型の塗料です。他の塗料との混合やプライマー塗装に使用した刷毛・ローラーを充分洗浄する前に他の塗料に使用すると異常（塗料がゲル化したり、刷毛・ローラーが固まったりする）が生じる恐れがあります。
- (3) ベストシーラーKには必ずKパウダーを添加して下さい。ベストシーラーK単独で塗装すると、降雨によりフクレが発生する可能性があります。
- (4) 塗料を小分けする場合は、先ず十分に攪拌し、均一にした後に小分け、塗装して下さい。
- (5) 取扱い時には皮膚・粘膜・目などに入らぬように、適切な保護具を着用して下さい。万一皮膚に付着した場合には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化がある場合には、医師の診察を受けてください。また作業の安全のため、ヘルメットの着用をおすすめします。

3・塗装（施工）後の注意

- (1) 湿度が高い時、気温の低い時は乾燥が遅れる場合があります。塗装工程では常に乾燥状態を確認してから次の工程に移って下さい。

4・環境汚染防止のための注意

- (1) 使用済空容器の押しつぶし作業では、内容物が万一こぼれても地下浸透しないようにシートを敷き、その上で作業して下さい。
- (2) 廃塗料、廃容器等は、産業廃棄物処理の許可を有する業者に委託して処理して下さい。

5・塗装面別の注意

- (1) 新設コンクリートは最低4週間以上の養生が必要です。素地コンクリートに水分が多い場合は塗装を避けて下さい。塗装前に素地面にポリシート（1m²以上）を貼り付け、翌日、素地面が黒くなったり、ポリシート内面に水滴の付着がないことを確認した後塗装して下さい。（ケット科学HI-500型水分計の場合、Dモードで800以下、チャンネル4で5以下を目安にする）

6・全般的注意

- (1) 製品ご使用の際には、当資料編の他、製品本体記載の注意事項及びMSDS（製品安全データシート）を良くお読み下さい。
- (2) 改良等の為 ①製品の中身、仕様 ②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- (3) 当資料編に表示してあります諸数値はあくまでも設計上のもので、塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- (4) 製品本体、販促物及び当資料編に記載されている、定められた用途以外には使用しないで下さい。またご使用方法等につきましてご不明の点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせ下さい。

仕 様

■ 推奨仕様

ベランダ 標準仕様、標準防滑仕様、標準SG防滑仕様
 屋 上 補強布仕様、シート防水塗り替え仕様

■ 標準仕様 (コンクリート・モルタル打設10年以上を目安)

塗装工程	工 程	塗料名	希釈剤	希釈率(重量%)	塗布量(kg/m ²)	塗装間隔(時間)	
						23℃ 50%	5~10℃
 <ul style="list-style-type: none"> ④ アトレヌ水性トップSG ③ アトレヌ水性防水材 ④ アトレヌ水性防水材 ① アトレヌ水性防水材 ② ベストシーラー-K+Kパウダー 	① 下地処理	施工要領を参照					
	② プライマー	ベストシーラー-K Kパウダー	無希釈	—	0.17~0.25 0.03~0.05	1	3
	③ 下塗り	アトレヌ水性防水材	無希釈	—	0.15~0.20	1	2
	④ 中塗り	アトレヌ水性防水材	無希釈	—	0.35~0.45	2	18
	⑤ 上塗り	アトレヌ水性防水材	無希釈	—	0.35~0.45	2	24
	⑥ トップコート	アトレヌ水性トップSG	無希釈	—	0.15~0.20	—	—


※1

■ 補強布仕様

塗装工程	工 程	塗料名	希釈剤	希釈率(重量%)	塗布量(kg/m ²)	塗装間隔(時間)	
						23℃ 50%	5~10℃
 <ul style="list-style-type: none"> ④ アトレヌ水性トップSG ⑦ アトレヌ水性防水材 ⑥ アトレヌ水性防水材 ⑤ アトレヌ水性防水材 ④ ボランス ③ アトレヌ水性防水材 ② ベストシーラー-K+Kパウダー 	① 下地処理	施工要領を参照					
	② プライマー	ベストシーラー-K Kパウダー	無希釈	—	0.17~0.25 0.03~0.05	1	3
	③ 下塗り	アトレヌ水性防水材	無希釈	—	0.90~1.00	直後	直後
	④ 補強布	ボランス	—	—	—	直後	直後
	⑤ 目止め	アトレヌ水性防水材	無希釈	—	0.25~0.30	3	18
	⑥ 中塗り	アトレヌ水性防水材	無希釈	—	0.30~0.35	2	5
	⑦ 上塗り	アトレヌ水性防水材	無希釈	—	0.30~0.35	2	18
	⑧ トップコート	アトレヌ水性トップSG	無希釈	—	0.15~0.20	—	—

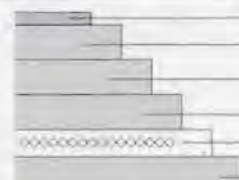
※1

■ 旧塗膜塗り替え仕様

塗装工程	工 程	塗料名	希釈剤	希釈率(重量%)	塗布量(kg/m ²)	塗装間隔(時間)	
						23℃ 50%	5~10℃
 <ul style="list-style-type: none"> ⑤ アトレヌ水性トップSG ④ アトレヌ水性防水材 ③ アトレヌ水性防水材 ② アトレヌ水性防水材 	① 下地処理	施工要領を参照					
	② 下塗り	アトレヌ水性防水材	無希釈	—	0.15~0.20	1	2
	③ 中塗り	アトレヌ水性防水材	無希釈	—	0.35~0.45	2	24
	④ 上塗り	アトレヌ水性防水材	無希釈	—	0.35~0.45	2	24
	⑤ トップコート	アトレヌ水性トップSG	無希釈	—	0.15~0.20	—	—


※1

■ シート防水塗り替え仕様

塗装工程	工 程	塗料名	希釈剤	希釈率(重量%)	塗布量(kg/m ²)	塗装間隔(時間)	
						23℃ 50%	5~10℃
 <ul style="list-style-type: none"> ⑦ アトレヌ水性トップSG ⑥ アトレヌ水性防水材 ⑤ アトレヌ水性防水材 ④ アトレヌ水性防水材 ③ ボランス ② アトレヌ水性防水材 	① 下地処理	施工要領を参照					
	② 下塗り	アトレヌ水性防水材	無希釈	—	0.90~1.00	直後	直後
	③ 補強布	ボランス	—	—	—	直後	直後
	④ 目止め	アトレヌ水性防水材	無希釈	—	0.25~0.30	3	24
	⑤ 中塗り	アトレヌ水性防水材	無希釈	—	0.30~0.35	2	5
	⑥ 上塗り	アトレヌ水性防水材	無希釈	—	0.30~0.35	2	18
	⑦ トップコート	アトレヌ水性トップSG	無希釈	—	0.15~0.20	—	—

※1 ※2

■ 標準防滑仕様

塗装工程	工 程	塗料名	希釈剤	希釈率(重量%)	塗布量(kg/m ²)	塗装間隔(時間)	
						23℃ 50%	5~10℃
 <ul style="list-style-type: none"> ⑦ アトレヌ水性トップH ⑥ アトレヌ水性トップH ⑤ アトレヌ水性防水材 ④ アトレヌ水性防水材 ③ アトレヌ水性防水材 ② ベストシーラー-K+Kパウダー 	① 下地処理	施工要領を参照					
	② プライマー	ベストシーラー-K Kパウダー	無希釈	—	0.17~0.25 0.03~0.05	1	3
	③ 下塗り	アトレヌ水性防水材	無希釈	—	0.15~0.20	1	2
	④ 中塗り	アトレヌ水性防水材	無希釈	—	0.35~0.45	2	18
	⑤ 上塗り	アトレヌ水性防水材	無希釈	—	0.35~0.45	2	24
	⑥ トップコート1回目	アトレヌ水性トップH	水	5~10	0.20~0.30	2	3
	⑦ トップコート2回目	アトレヌ水性トップH	水	5~10	0.20~0.30	—	—

※1

■ 標準SG防滑仕様 (軽度防滑)

塗装工程	工 程	塗料名	希釈剤	希釈率(重量%)	塗布量(kg/m ²)	塗装間隔(時間)	
						23℃ 50%	5~10℃
 <ul style="list-style-type: none"> ⑥ アトレヌ水性トップSG+ノンスリップ材 ⑤ アトレヌ水性防水材 ④ アトレヌ水性防水材 ③ アトレヌ水性防水材 ② ベストシーラー-K+Kパウダー 	① 下地処理	施工要領を参照					
	② プライマー	ベストシーラー-K Kパウダー	無希釈	—	0.17~0.25 0.03~0.05	1	3
	③ 下塗り	アトレヌ水性防水材	無希釈	—	0.15~0.20	1	2
	④ 中塗り	アトレヌ水性防水材	無希釈	—	0.35~0.45	2	18
	⑤ 上塗り	アトレヌ水性防水材	無希釈	—	0.35~0.45	2	24
	⑥ トップコート	アトレヌ水性トップSG+ノンスリップ材2%	無希釈	—	0.15~0.20 0.003~0.004	—	—

※1

※1 塗装間隔は、塗装時の気温、湿度、風の有無等によって変動します。

※2 シルバーが塗装されている場合は、別途塗装仕様があります。

アトレーヌ水性防水材 施工手順

① プライマー塗布

プライマーは、下地の吸い込み止め、通気の遮断、下地と防水層の密着性を強化する役目をします。



刷毛又はローラーを用いて、ベストシーラーK+Kパウダー20%混合品を塗り残しのないよう均一に塗布します。

吸い込みの激しい場合は、再度ベストシーラーK+Kパウダー20%を塗布して下さい。降雨などにより間隔が開いた場合は当社にお問合せ下さい。

- * コーキングは速乾型ウレタンシーリング材を使用し、完全に硬化させてください。(シリコン系不可)
- * ベストシーラーKはカチオン型の塗料です。他の塗料との混合やプライマー塗装に使用した刷毛、ローラーを充分洗浄する前に他の塗料に使用すると異常(塗料がゲル化したり、刷毛・ローラーが固まったりする)が生じる恐れがあります。

② 防水材の塗布

継ぎ目なしの連続した美しい防水層をつくります。また、さまざまな用途に適した仕上がりが得られます。



(平場)ローラーを用いて、アトレーヌ水性防水材を規定量、均一に塗布します。塗り回数は通常3回とし、塗り重ね時は、前回の塗り方向と直角になるように塗布して下さい。

(立上り)立上り部分については、平場に先行してローラーにて規定量を均一に塗布して下さい。

■ アトレーヌ水性防水材の各気温における上塗り可能時間

	30℃	20℃	10℃	5℃
上塗り可能時間	1時間	2時間	3時間	5時間

ただし塗装時の湿度、風の有無等により変動します。

補強布張り(補強布仕様・シート防水仕様の場合)

ウレタン防水層に強度を加える為の補強材です。又、防水層の膜厚の確保にもつながります。



アトレーヌ水性防水材を接着剤として塗布し、直ちに補強布を張り付けます。張り付け後は、すぐにきれいなローラー等を用いて、補強布を圧着していきます。

③ トップコート仕上げ

ウレタン防水層を紫外線等から保護し、美観、防滑性等の機能を付与します。



アトレーヌ水性トップSGを無稀釈でローラー刷毛にて塗布します。また防滑仕様にする場合は、アトレーヌ水性トップHを2回塗りします。更に低汚染を希望される場合は、アトレーヌ水性トップHを2回塗り後、アトレーヌ水性トップSGを塗布して下さい。

* 翌日に降雨が予想される場合は、塗装を避けて下さい。

■ ベストシーラーKにKパウダーを混合した場合の可使用時間

気温	23℃以下	30℃	40℃
可使用時間	当日中可能	6時間	3.5時間

下地の点検及び調整

■ 指定勾配

- ★ 歩行用としては1/100
- ★ 非歩行用としては1/50

■ 乾燥

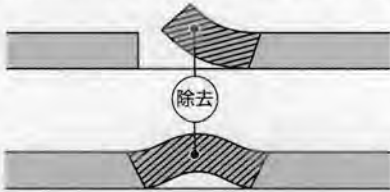
- 乾燥期間として一般的に晴れの日が2日以上必要。
- 水分が残っているとふくれの原因となる。また、デッキプレート上に打設されているコンクリートモルタル、吸水量の大きい骨材（パーライト等）を使用しているコンクリートモルタルは、通常モルタルより多く水分を含んでいるので注意が必要。
- ★ 新設コンクリートは打設4週間以上経過後、下記の水分計で水分量を確認してください。（ケット科学水分計HI-500で測定した場合の水分量がDモードで800以下、チャンネル④で5以下を目安とする）

■ 表面のケレン

- ★ 凸部や突起物を、サンダー、ポリッシャーで研磨する。
- ★ 新設コンクリート、モルタルはエフロ等があるので、全面サンダー等でケレンする。
- ★ 表面が荒れていたり、脆弱な場合は下地調整材リーチで平滑にする。

■ 浮き、段違い

- ★ ハンマー等で研り取り、リーチ又は樹脂モルで補修する。



■ クラック

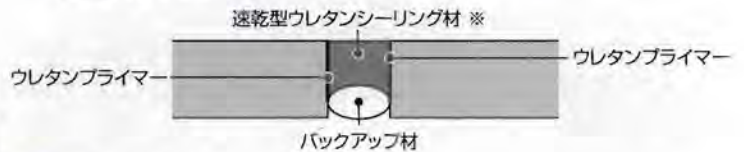
- ★ 大きなクラック（1mm以上）はVカットし（小さなクラックはそのまま）ウレタンプライマーを塗装し、速乾型ウレタンシーリング材で充填する。
- 速乾型ウレタンシーリング以外は使用しないこと。（シリコンシーリングは使用不可。）



*リーチの使用方法に関してはアトレスシリーズ総合カタログまたはリーチA4パンフレットをご参照ください。

■ 目地

- ★ 旧目地材を撤去し、ウレタンプライマー塗装後バックアップ材を入れ、速乾型ウレタンシーリング材を充填する。



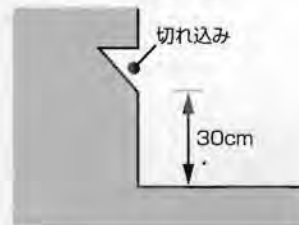
■ 出隅の面取り

- ★ 出隅はサンダー、ダイヤモンドカッターで3~5mmの面取りをする。
- ★ コーナーはウレタンプライマー塗装後、速乾型ウレタンシーリング材で充填する。



■ 立上り部の水切り

- ★ 立上り部に水性防水材末端を造る場合、ダイヤモンドカッター等で30cmの高さに切れ込みを入れておく。



■ ルーフドレン、排水口

- ★ 水はけが良く納まるよう、低く堅固にとりつけてあり、欠損がないこと。

■ 旧塗膜塗り替えの場合

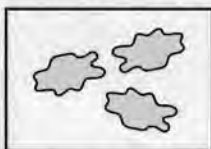
- ★ 破断及びふくれが部分的にあった場合、大き目に塗膜を切り取り充分に乾燥後、速乾型ウレタンシーリング材及び水性防水材で平滑にする。
- ★ 破断及びふくれが全面的にある場合は、旧塗膜を全面除去する。
- ★ 旧塗膜表面がチョーキングしている場合は、サンドペーパー#20~#60で全面目荒し後シンナー拭きする。

■ シート防水及びアスファルト防水塗り替えの場合

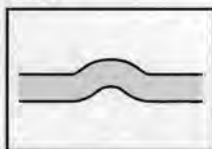
- ★ 全面撤去しても、コンクリート表面にノリやアスファルトが付着しているため、下地調整材リーチを塗装する。

※速乾型ウレタンシーリング材は、ノンブリード型をご使用下さい。

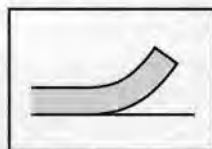
■ トラブルとその原因



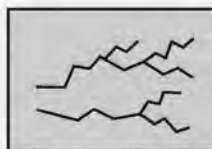
- 変色
- 下地からのブリード（タール、アスファルト）
- 紫外線による劣化



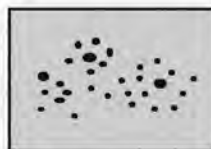
- 膨れ
- 下地の乾燥不十分
- 結露、夜露のまま塗り重ね
- 夏期、日中時の施工



- ハクリ
- 下地の乾燥不十分
- 下地のレイタンスや老化
- 吸い込みの激しい下地
- 塗り重ね間隔が長い
- 納まり部の処理不適

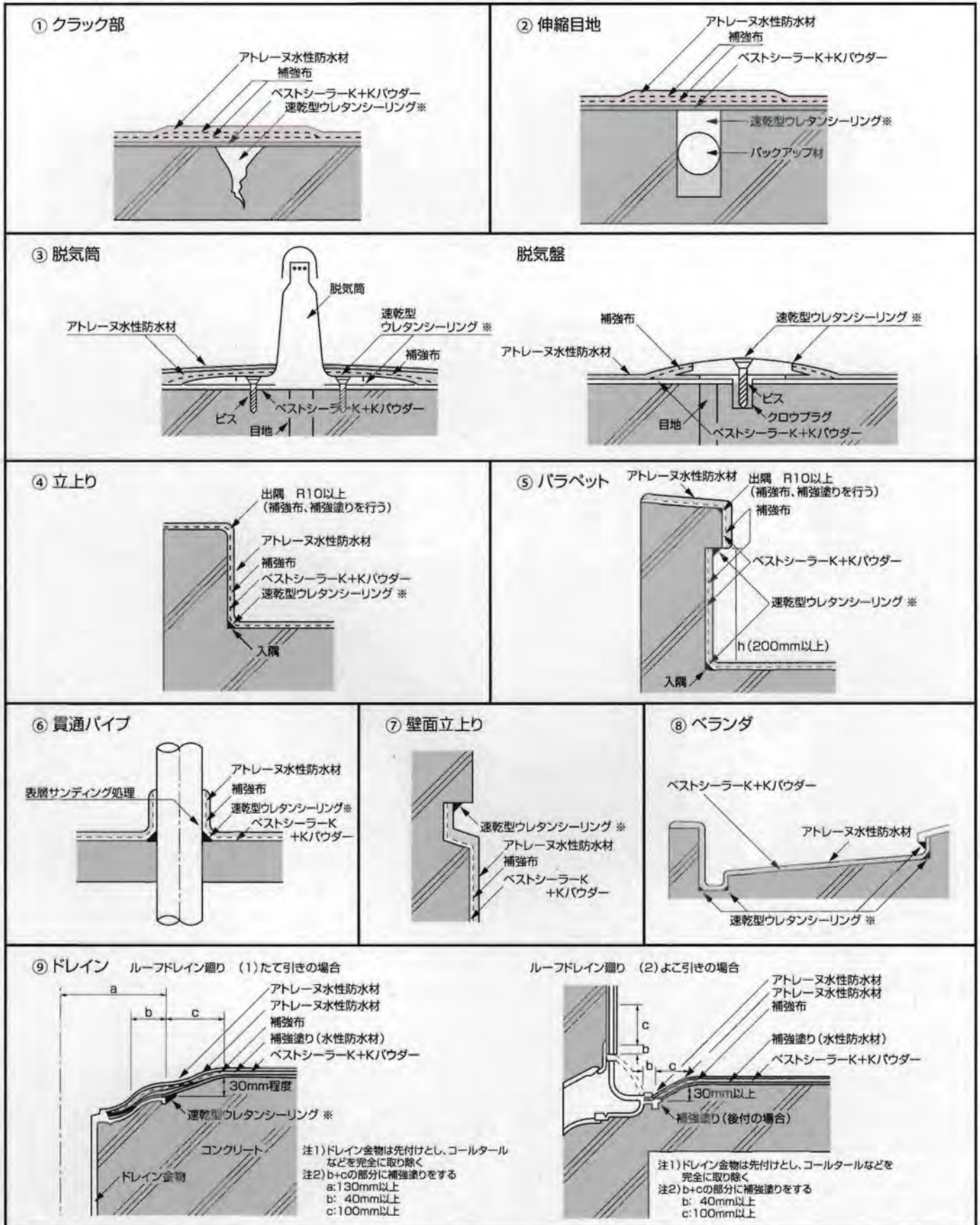


- 亀裂
- 下地のクラック・凸部の未処理
- 初期硬化以前の下地の挙動



- ピンホール
- 高温多湿な気象条件
- 下地やプライマーの乾燥不十分
- 攪拌時のエアーマスキ込み
- 厚塗り

施工納まり図



※速乾型ウレタンシーリング材は、ノンリード型をご使用下さい。また、下塗りはウレタンプライマーを塗装して下さい。ただし、水性防水材の上に速乾型ウレタンシーリング材を使用する場合は、下塗りは必要ありません。

ATOMIX

アトミクス株式会社

ISO14001:2004
ISO9001:2000
認証取得

Internet Paint Shop

ペいんとわーくす

<http://www.paint-works.net/>

■塗料事業部 〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎 1-12-1 TEL(0480)65-1233(直通) FAX(0480)65-1161

■本 社 〒174-8574 東京都板橋区舟渡 3-9-6
■加須受注センター 〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎 1-12-1(加須工業団地内)
■大 阪 支 店 〒574-0053 大阪府大東市新田旭町 2-22
■仙 台 営 業 所 〒982-0012 仙台市太白区長町南 4-24-22(山村ビル)
■新 潟 営 業 所 〒950-0982 新潟市中央区堀之内南 2-19-14(和合ビル 2F)
■千 葉 営 業 所 〒264-0025 千葉県若葉区都賀 3-22-9(ヴィラグレイス 203)
■東 京 営 業 所 〒174-8574 東京都板橋区舟渡 3-9-6
■横 浜 営 業 所 〒224-0033 横浜市都筑区茅ヶ崎東 3-17-43
■名 古 屋 営 業 所 〒462-0043 名古屋市北区八代町 1-9(北村ビル 2F)
■広 島 営 業 所 〒739-1734 広島市安佐北区口田 1-8-17(小夫家ビル)
■福 岡 営 業 所 〒812-0863 福岡市博多区金の隈 1-33-31
■加 須 工 場 〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎 1-12-1(加須工業団地内)

TEL (03) 3969-3111 (代表) FAX (03) 3968-7300
TEL (0480) 65-1154 FAX (0480) 65-6909
TEL (072) 872-3111 FAX (072) 872-1222
TEL (022) 249-7371 FAX (022) 249-7372
TEL (025) 244-8011 FAX (025) 244-8012
TEL (043) 234-5123 FAX (043) 234-5125
TEL (03) 3969-3125 FAX (03) 3968-7300
TEL (045) 943-8911 FAX (045) 943-8912
TEL (052) 914-3900 FAX (052) 916-0892
TEL (082) 845-2202 FAX (082) 845-2203
TEL (092) 503-5200 FAX (092) 503-5308
TEL (0480) 65-1159 FAX (0480) 65-7146